

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
1078.5	青少年健全育成事業	会計	01	一般会計		
		款	10	教育費		
基本施策	37	子どもたちの健やかな成長を促す	項	05	社会教育費	
			目	04	青少年育成費	
担当部課名	教育委員会 青山分室		細目	101	青少年健全育成事業	
作成者氏名	鋤本 方洋	連絡先	52-1110	細々目	01	青少年健全育成事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
市民		次代を担う青少年の健全な心を育み、非行防止並びに福祉の向上を図る。			
本年度事業内容	青山青少年育成会議への補助金の交付及び事務局として育成会議の活動を支援する。				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市子ども健全育成条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.8	0.8
人件費合計(A)	3,600	5,760	5,760
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,499	1,494	552
委託料	978	500	
報償費		240	
負担金、補助	500	450	400
その他	21	304	152
合計(A+B)	5,099	7,254	6,312
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,099	7,254	6,312
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
「子どもを守る家」の軒数	軒	297	310	330			
青山青少年育成会議の加入団体・組織数	団体	19	19	19			
地域見守りパトロール活動回数	回	12	18	24			
登下校時等の児童生徒に対する不審者等からの声かけ事案等発生件数	件	6	0	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地域見守りパトロール活動日数	見守りパトロール活動により、犯罪の発生の抑止と青少年の非行防止となる。	回	12 目標 (12)	18	24
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

子どもたちが被害者となる凶悪犯罪が増加する中、安心・安全で快適なまちづくりを行うことが急務となっている。青山青少年育成会議を中心として、街頭キャンペーンや地域見守りパトロール活動を行い、青少年の非行防止や健全な心の育成に取り組んでいる。また、不審者情報等に対しては、地域住民に対する注意の喚起等、すばい情報発信等の対応が求められている。

評価	必要性	4	将来を担う子どもたちを育むために、学校・家庭・地域が協力・連携していくことが必要であり、そのために地道に啓発活動や見守り活動を行っていくことが青少年が健全に育成できる環境づくりにつながっていきます。今後も「大人が変われば子どもも変わる」を合言葉に、一人ひとりの大人たちの意識の変革が図られるよう街頭キャンペーン等に取り組んでいきます。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A